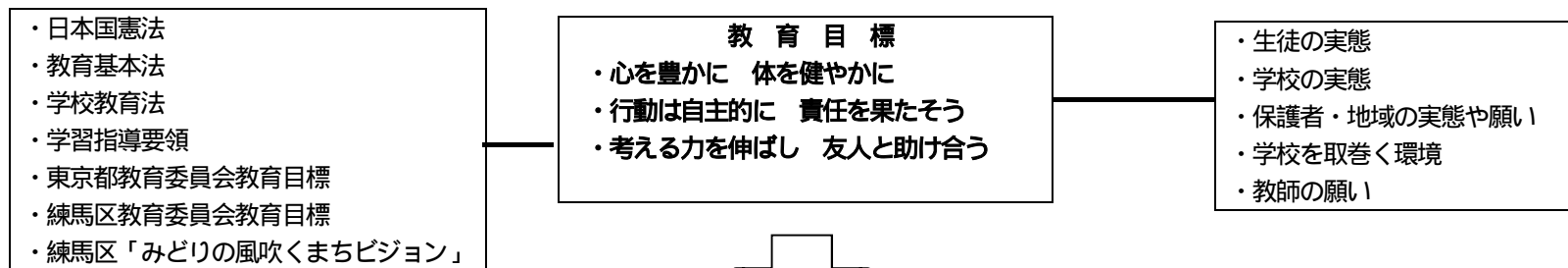


# 学力向上・授業改善 推進全体計画



**学校の教育目標を達成するための基本方針**

ア 学校の教育活動全体において、生徒一人一人が、かけがえのない人間として、互いに尊重し合い、信頼し合える人間関係を築くことに努め、人権教育推進校として講演会や人権作文など、具体的な指導を重視する。そのため、教師一人一人の識見や能力を高め、教師一人一人が人権感覚、人権意識をもち、校内体制を確立し、家庭や地域社会との連携を一層深め、学校教育の一層の充実、向上に努める。

イ 生命を大切にすることを道徳の時間、道徳授業地区公開講座、全校道徳等で実施し、自他の生命を尊重する教育の充実を図る。

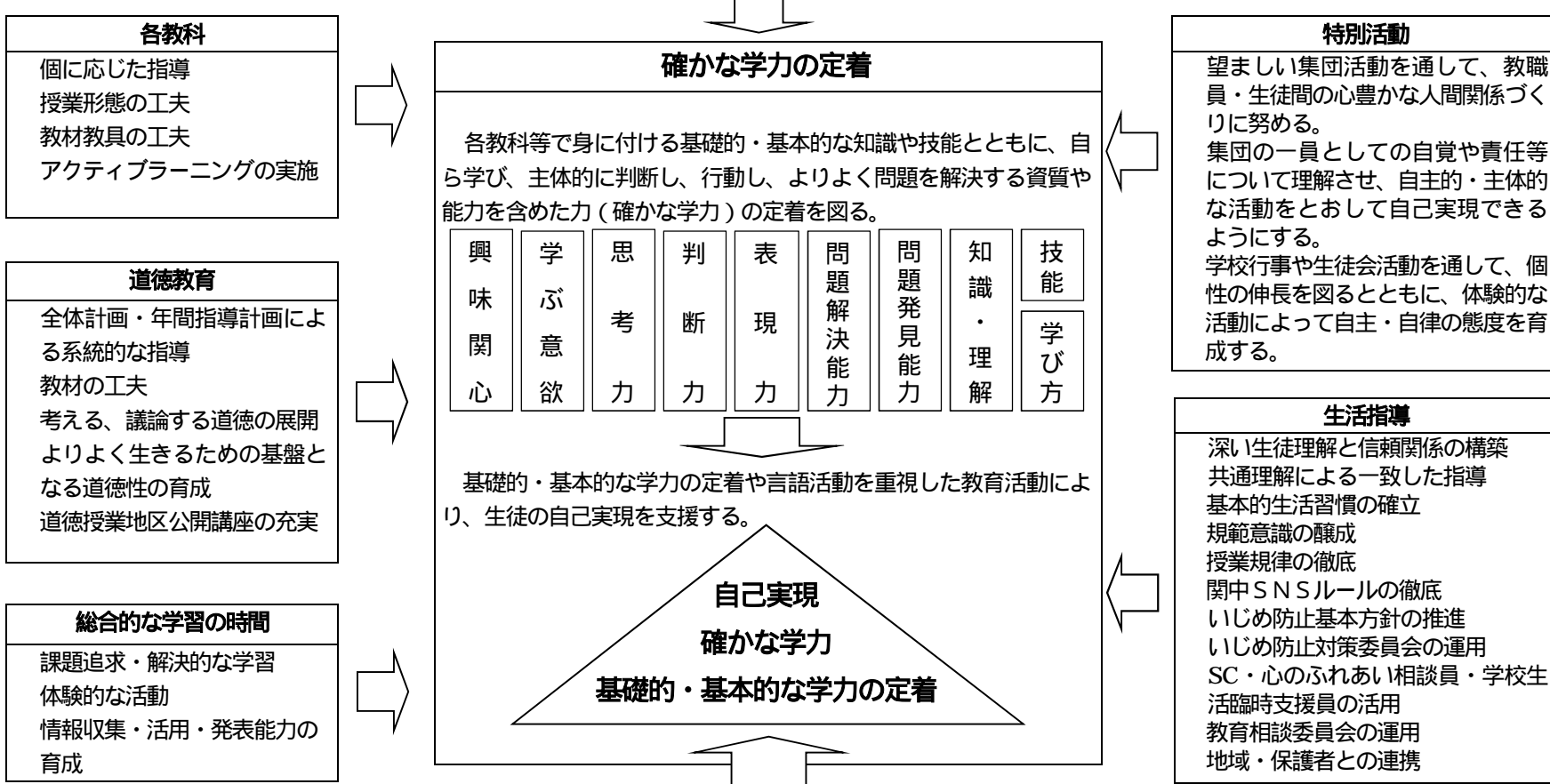
ウ 様々な分野の人との交流の機会や地域社会の行事への積極的な参加を通して、これからの地域社会や国際社会に生きる一員としての自覚を育て、豊かな心を育成する。また、自他を慈しみ生命を大切にすることを、互助精神の育成、規範意識を身に付ける指導を重視するために、道徳教育の充実を図る。

エ 「特別支援教育」「いじめ」「不登校」「問題行動」「進路選択」などの多様な課題に対して、教育相談委員会を設置し、教育相談やガイダンス機能を充実させる。特別支援教育コーディネーター、登校支援コーディネーター、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、学校生活臨時支援員、養護教諭と関係諸機関との連携の基、配慮の必要な生徒への指導・支援の方法やいじめ防止、不登校生徒問題への組織的な対応を図る。

オ 学力調査等の結果を踏まえ、授業改善推進プランを基に、生徒に確かな学力の定着と個に応じた指導を充実させ、思考力、判断力、表現力等の育成を目指す。また、習熟度別指導・チームティーチングの実施や学力向上支援講師を活用して指導方法の工夫を行い、生徒自身が課題を設定し、課題解決に取り組む学習を取り入れることにより、主体的に学ぶ意欲や能力を育てる。

カ ハートタイム（朝読書）を年間を通して実施し、学校図書館支援員や学校支援ボランティアの活用により、読書活動の推進や学校図書館利用の活性化を図る。授業等で図書資料等を活用する力を身に付け、言語活動の充実を目指す。

キ オリンピック・パラリンピック教育を推進するとともに、日本の伝統・文化を見直し、日本の良さを発見する。また、体力および健康の保持増進のため、校内マラソン大会の実施や体力テストの結果を基にした授業での運動の強化を図るとともに、生徒が自ら運動に取り組めるように、校内の施設設備を利用できるようにする。



具体的な取り組み				
指導内容・方法の工夫	評価方法の工夫	校内研修の充実	学校評価等の工夫	地域・保護者との連携
授業時間数の確保 習熟度別少人数指導（数学）及びチーム・ティーチング（英語） コンピュータ・情報ネットワークなどのICTの活用 学力向上支援講師の活用（英語） ハートタイム（朝読書）の年間実施 外部人材の活用	評価規準・方法の工夫 生徒のための成績相談日の設定（1・2・3学期末の通知表配付時） 授業に生かす評価の充実	相互授業参観週間の実施（年2回） 外部講師招聘 小中一貫教育の研修 特別支援教育研修 評価評定についての研修 食育研修 食物アレルギー対応研修 OJTの推進	生徒による授業評価 保護者による学校評価 学校評議員による学校評価 教師自身による自己評価 各種学校評価の公表（HP、学校だより）	評価評定保護者会の開催（授業の年間指導計画と評価計画の配付） 教育ボランティアの活用 キャリア教育の視点での地域事業所を活用した職場体験（2年） 避難拠点訓練（2年） 練馬・東京学習（1年・2年） 積極的な授業公開 学校だより、HPでの情報提供